

登録コード	BSB81576	開講年度	2026				
授業題目	生命工学演習 I (22BS以降)				担当教員	小西 博昭	
英文授業名	Seminar in Biotechnology I				副担当		
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】健康・福祉・医療・創薬分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				⇔	生命工学に関連するトピックについてのクリアに発表することができる。	
(2)授業の概要	高等真核生物（特にヒト）の細胞情報伝達機構に関する教科書や論文を理解する。適宜、プレゼンテーション形式で理解した内容について発表を行う。同時に、自分自身の研究内容に反映させるべき点などを考察する。また、数回に一度は自分自身の研究の進捗状況を発表し、国際学術論文としてまとめるために必要な点や、方策について議論する。						
(3)授業計画	1～3. 各自の研究テーマのこれまで背景の確認と目標設定 4～7. 研究テーマに関連する論文の検索と読解 8～13. 論文の紹介と質疑応答 14. 研究テーマの進捗状況報告と方針の確認 15. 研究発表（学会、論文）の準備						
(4)成績評価の方法	各自の研究結果について国際学術誌への投稿を目指す意欲の程度 1、世界の研究進捗状況を把握できている 2、あらたな知見を得るための方針を考えることができる 3、あらたな知見を得るための研究を実行できる 4、研究結果を論文発表できるように仕上げる						
(5)成績評価の基準	修士の間に上記4まで遂行できればS 3までであればA 1、2までできればB 1までであればC それ以下はD						
(6)事前事後学習の内容	日々新聞やインターネットなどで最新の科学研究の話題などを調べる。 講義の事前学習：講義のキーワード等を参考に事前調査し、調査結果を自分の言葉でノートにまとめること。また、教員から出された課題等に取り組むこと。 講義の事後学習：講義で紹介された内容を復習し、自分なりにノートにまとめること。加えて、講義で紹介された参考書や文献の調査を行い、その内容を自分の言葉でノートにまとめること。 以上の学習については、学習内容として決められた時間内にできる範囲を標準とする。 ※この授業は90時間の学修を必要とするため、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(7)履修上の注意	心身ともに健康であること						
(8)質問,相談への対応	対面、メールいずれも可						
(9)その他							
【教科書】	特になし						
【参考書】	これまで当研究室で発表してきた論文など						